

「公共図書館のこれからを考えるワークショップ」

## 「図書館機能をはじめとした 複合機能施設の管理・運営」



1



## 武蔵野市立ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイスとは

3

## 施設概要

- ・開館 2011年7月9日開館
- ・所在地 東京都武蔵野市境南町  
(JR中央線武蔵境駅南口徒歩1分)
- ・延床面積 約9,809㎡
- ・階数 地上4階、地下3階
- ・開館時間 9:30~22:00
- ・年間来館者数 約140万人

4

## 施設の特徴

### 新しいタイプの公共施設

- ・生涯学習
- ・市民活動支援
- ・青少年活動支援
- ・図書館(分館)

4機能の  
融合・連携

5

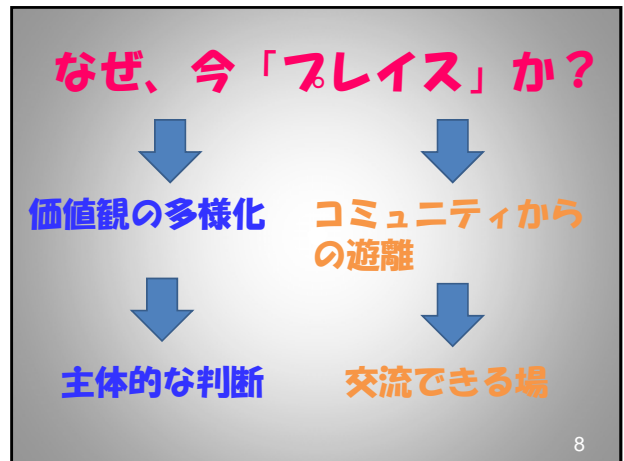
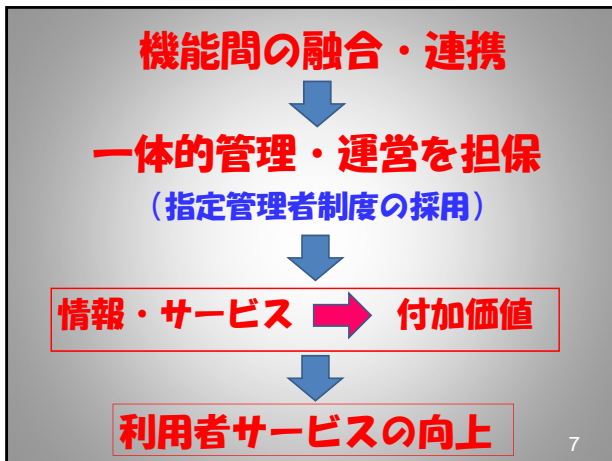
## 複合機能施設とは

様々な施設機能の集合体として  
一つの建物を形成する  
→ 一体的管理・運営

一方複合施設は

ひとつの建物の中に単に複数の機能  
(施設)が存在する  
→ 分散管理

6



**施設名称「ひと・まち・情報・創造」が表すもの**

- 「武蔵野プレイス」は、図書館、生涯学習センター、市民活動センター、青少年センターなどといったこれまでの公共施設の類型を超えて、複数の機能を積極的に融合させ、図書や活動を通して、**人とひと**が出会い、それぞれが持っている**情報**（知識や経験）を共有・交換しながら、知的な**創造**や交流を生み出し、地域社会（**まち**）の活性化を深められるような活動支援型の公共施設を目指しています。

9

**生涯学習**

*市民相互の連携を促し、地域の教育機関、企業、施設と連携した、柔軟な生涯学習事業を展開し、生涯学習活動を支援*

- ・コンソーシアム型（外部団体等との連携）事業の実施
- ・武蔵野地域自由大学、その他市からの移管事業の運営
- ・情報交換の場や情報の提供

10



**市民活動支援**

*市民活動に携わる人々が互いの立場や考え方を尊重しながら交流し、開かれたネットワークを形成することを支援*

- ・市民活動に関わる情報の提供、蓄積、編集、発信
- ・市民活動団体相互の交流を促進するためのネットワーキング機能
- ・団体の経営やマネジメントに関する支援
- ・組織の運営の仕方等についての相談、コンサルティング機能

12



**青少年活動支援**

青少年の『居場所』をキーワードに、さまざまな居方（過ごし方）ができる場を設け、青少年が活動を通して社会とのかかわりを持つことができるように支援

- 情報交換の場や情報の提供
- 講習、ワークショップの等の開催
- 事業企画への利用者の参画

17





## 図書館

施設の基幹機能として他の機能と連携を図り、さまざまなライフステージに対応した滞在型図書館をめざします。

- 図書資料の充実（約15万冊所蔵）
- 図書配置方法等資料情報活用の工夫
- 図書閲覧環境の確保（閲覧席350プラスα）
- 雑誌タイトル数（600誌）の充実
- フロアごとの役割の明確化

21

## 図書館及び周辺のサービス

〈貸出、返却等の基本サービス〉  
自動貸出、自動返却、予約資料コーナー、本日の返却本棚（新着本棚）、トピックス、おはなしのへや、託児コーナー等 ⇒カウンター役割の変化

〈サーチバー（PC10台）〉 ⇒キオスク端末で受付インターネット検索、オンラインデータベース、国立国会図書館「歴史的音源」、ナクソス（視聴及び貸出）、武蔵野地域映像アーカイブ

〈周辺のサービス〉

- スタディコーナー（56席）⇒キオスク端末で受付
- ワーキングデスク（40席、有料、インターネットで予約）⇒公共施設に縁がなかったビジネスパーソン等
- 全館無線LAN⇒フリースポット
- カフェ⇒館内デリバリー、図書の持込可、アルコール提供、イベント開催

22





# キーワード1



「場」

## 《「プレイス」というコンセプト》

**開放性**⇒すべての市民に開かれた、自由な交流の「場」

**多様性**⇒重層的な知的活動の拠点として多様な機能を持った「場」

**創発性**⇒知の共有が行われ、様々な活動がゆるやかに関係し合う「場」  
※創発とは、自立的な要素が多数集まることによって、高度で複雑な秩序やシステムが生じる現象のこと

## 「ブラウジング」

年齢も目的も異なる利用者



来館目的外の活動や情報



気づき・出会い・交流



# キーワード2



「ふらっと」

## 目的利用

あらかじめ明確な目的を持って施設を訪れる



## 状況利用

多様な居方を可能にし、その状況に応じて活動内容が変わっていくような利用形態

**目的なくふらっと寄る⇒あそこに行く  
と何かある**

## 《目指すべき方向》

- シームレスな公共空間  
⇒ 敷居を低く
  - 日常生活に密着  
⇒ 日常生活に欠くことのできない
- ↓
- 課題解決（地域、個人）のための支援  
⇒ 地域の一員

37